

中央小学校だより

令和1年 12月 23日 中央小学校 学校通信



あったかーい冬休みが始まります！

残暑の厳しい中でスタートした2学期ですが、子どもたちは「運動会」「社会見学」「修学旅行」「自然教室」「音楽会」など、学習と両立させながら、様々な行事を行ってきました。・その中で子どもたちが得たものは、「みんなと乗り越えた達成感」であったと思います。クラスで丸となって・・・また、学校全体で・・・行事は子どもたちを成長させます。やり遂げた自信と、これからのやる気を引き出してくれます。2学期を終えて一回りたくましくなったお子様を感じられたのではないのでしょうか。しかし、心も体も順調に成長していくことができればよいのですが、やはり行きつ戻りつするものです。少し後戻りをして、やる気を引き出すための指導を今後も行っていきたいと思います。

今年の冬は比較的暖かく感じ、木々の紅葉も例年より長い間楽しめたような気がします。それでも、12月末となれば寒さも増してくると思います。インフルエンザも流行の兆しを見せています。冬休みに入っても、手洗い・うがいを行い、風邪を予防して、お家であったかーい冬休みをお過ごしくださいね。

サクラの木は？

今日の終業式で子どもたちにサクラ（ソメイヨシノ）の冬芽の話をしました。樹木には大きく分けて落葉する樹木と冬でも葉が緑の樹木がありますサクラの木は紅葉して落葉する木です。今はすっかり葉が落ちてしまった木やまだ少し葉が残っている気があります。でも、もう春の準備が始まっています。

冬は木々の冬芽を観察する絶好の機会です。写真のサクラの新芽は2種類あります。花になる芽（花芽「かが」と読みます）と葉になる芽（葉芽「ようが」と読みます）があります。花芽は葉芽よりふっくらしているのでこの時期になるとわかるようになってきます。来年の春に美しい花を咲かせるために寒い冬の間から静かに力を蓄えているのです。

子どもたちもこの冬休みに、新しい年に、新学年に備えて学力や体力をしっかりと蓄えてほしいと思っています。花芽1つで1個のサクラの花が咲くのではなく数個の花が咲くのです。たくさんの花を咲かせるために、「自分から」学習し、運動し、家族の一員としての役割を果たしてほしいと思います。



保護者や地域の皆様には今年1年いろいろな場面で、大変お世話になりました。来年もよろしくお願ひします。ありがとうございました。